

情's people

33

TAKE FREE



<目次>

- 【巻頭特集】情報館でお家をたてよう p.2-3
- 情's SCRAP p.4
- 情's コラム p.5
- 情報館数珠つなぎ p.6
- 情's selection p.7
- 情's 四コマ劇場／情's 掲示板／編集後記 p.8

情's people vol.33 (2010.03.15 発行)

発行元：京都精華大学情報館 情's people 編集部
発行責任者：井上千佐 編集責任者：福山 陽

編集スタッフ：近藤千佳・大西啓子・喜多孝子



情's 掲示板

— 情報館からのお知らせ —

○「情報館へようこそ展」が
開催されます！

開催期間：3/29 (月) ~ 5/1 (土)

お役立ち情報が満載です！

○「情報館ツアー」を行います

開催期間：4月初旬

所要時間：30分程度

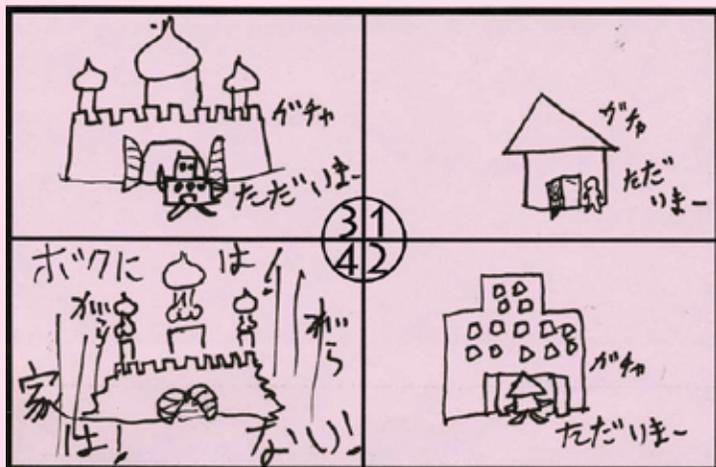
情報館の基本的な利用法をマスターしたい
ア・ナ・タ！お待ちしております。

※詳しくは2F図書カウンターまでどうぞ

情's 四コマ劇場

今回のお題 「家」

情報館でお題を出し、利用者の皆さんから
四コマを募集。編集長の独断と偏見で選んだ
優秀作品を紹介しちやおうというコーナーです。
今回のお題は「家」。応募してくれた皆さん！
ありがとう！



タイトル：かえるところ

作：もてい

あなたの 四コマ 待ってます！！

情's 四コマ劇場では掲載する四コマを大募集しています！
応募用紙に 2F 図書カウンターにある専用ポストに投稿し
てください。応募作品はすべて情報館の大型モニターで発表
される他、優秀作品は情's people に掲載されます。みんな
が自分の作品を見る快感を是非味わってください！

<お知らせ>

次号募集する四コマにはテーマを設けません。
あなたの自由な完成を爆発させてください！

編集後記



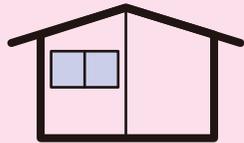
暖かくなってきました。雨が降ると春のおいがたちこめて、
ちょっと浮かれてしまいます。
春と言えば新生活。引っ越しのシーズンですね。初めての
一人暮らしにドキドキしている方も多いでしょう。今号のテ
マは「家」です。
巻頭特集では建築的な観点から情報館の所蔵資料を紹介しま
したが、その他にも料理や京都案内など、暮らしに役立つ資
料がいっぱいありますので、是非利用してみてください！

ご意見・ご感想はこちらまで
fukuyama@kyoto-seika.ac.jp

巻頭特集

情報館で **お家** を建てよう

もしも～ わたし～が～ いえ～を～ たてたなら～…さて、どんな家を建てましょう？情報館には『家』にまつわる本がたくさんありますよ。



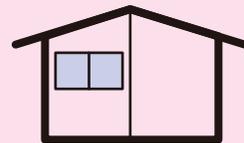
どんなお家にしようかな？



『家の話をしよう』
良品計画
3F 閲覧室 527||I 21



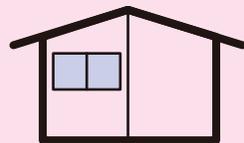
『「いい家」はこうつくる』
金堀一郎著 ニューハウス出版
3F 閲覧室 527||Ka 52



丈夫なお家を建てたいぞ



『継手・仕口』
INAX ギャラリー企画委員会 企画 INAX
3F 閲覧室 524.51||Ts 39



いい大工さんつれてきました！



『日本建築と工匠たち』
清水一著 世界書院
3F 閲覧室 521||Sh 49



『宮大工西岡常一の遺言』
山崎佑次著 彰国社
3F 閲覧室 521.81||N 86



『建材・設備はどこで何から作られているのか』
内田信平著 エクスナレッジ
3F 閲覧室 524.2||U 14

お家ができたよ！

『瓦:日本の町並みをつくるもの』
INAX ギャラリー企画委員会企画 INAX
3F 閲覧室 524.27||Ka 96

『ふすま』

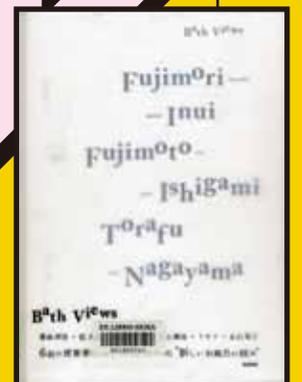
向井一太郎, 向井周太郎著
住まいの図書館出版局
3F 閲覧室 524.89||Mu 24



『世界のドア』
ベルンハルト M. シュミッド著
ピエ・ブックス 3F 写真集 748||Sc 5



『日本の壁: 鏝は生きている』
INAX ギャラリー企画委員会企画 INAX
3F 閲覧室 524.82||N 77



『Bath views』
Bath views project 編集 TOTO 出版
3F 閲覧室 527.6||B 27

情's

SCRAP

あてもなくぶらぶらと、
目についた本を開けば、
そこに思いがけない
素敵な出会いがある・・・かも。

本日の SCRAP

私は「顔にアザがあるということ」を片時も忘れたことがない。

「普通」とはどういうことを指すのでしょうか？1998年に発行された「五体不満足」という本を読んだことはありますか？ベストセラーになり非常に話題になりました。多くの人に身体について考えさせてくれた本です。今回取り上げたこの本は、顔に赤いアザのある人が書いた手記です。著者自身のことと様々な「ユニークフェイス」の人々のことが書かれています。アザなどの「通常でない」状態の皮膚がある人は多いと思いますが、著者は生まれつき顔に大きなアザがあったために、生きる上で様々な苦勞を負っています。

アザは英語で MARK と言い、これは「しるし」「記号」「目をつけること」「ねらうこと」「注目すること」という意味だ。いずれにしても、よい意味ではない。アザはスティグマのひとつなのだ。

…幼年期から男よりも、女の侮辱の視線をびんびん感じてきた。男が私の顔のアザを揶揄しようが、それは「一部の」男たちの馬鹿ないじめだ、と割り切ることができた。しかし、女の場合、直接私の顔をからかうことはしないものの、決して一人前の男として扱わない、という冷やかな態度を感じるのだ。私は恋愛をする資格のない人間ではないか。

…通りすがりの人に、突然侮辱されるのだから、怒りがこみあげてくる。そしてとても疲れる。初対面で、人を検分するのが習慣になった。人の視線とは、おもしろいもので、その人が私を嫌悪しているのかどうか、その眼の動きと表情によって一瞬でわかる。時間にして0.5秒にも満たない瞬間で、その人のアザに対する印象が伝わる。ある人はアザに目が吸い寄せられて視線が動かなくなる。別の人はアザを見ては失礼だ、と考えて理性の力で視線を私の眼に移動させる。一度も私の顔を見ないで長時間の打ち合わせをやりすごす人もいる。

「顔」という部分は非常に重要な意味を持ちます。「普通でない」と感じた顔を持つ人に対して、あなたはどのような人間関係を築きますか？それは「異常」な顔ではないと私は思います。その人固有の顔（ユニークフェイス）なのです。

《情報館所蔵資料》

『顔面漂流記：アザをもつジャーナリスト』石井政之著・かもがわ出版、1999 B1F 書庫 916|| 75

■ ネット上で同書は全文が無料で公開されています。

『顔面漂流記』 ネット公開版 <http://ganmen.wordpress.com/>

※太字部分はすべて引用です。

(Written by C)

情's づらみ

「Comfort isolates. Solitude limits solidarity ; solidarity corrupts solitude」

情報館 情報館課 メディアセンター 八巻 真哉

多くの人が、唯一無二の存在でありたいと願っている。
そして、そのために日々努力し続ける。

それなのに、人は誰かについて語る時
なぜかラベル化して話そうとする。
そのほうが簡単だからか。
その違いを楽しむためか。

そして、組織の中で、個は打ち消されようとする。

しかしどうだろうか。
果たしてそれが、願っていた生き方であろうか。
ラベル化の中で安住しようとしているのは、
ほかの誰でもなく、自分自身なのかもしれない。

私自身も、私をめぐる人間関係も、
常に更新「されなければならない」

見せかけの、幻想である“本質”に依拠しながらも、
その“本質”が幻想であることを忘れないために、
常に新しい“本質”を見出し、
古い“本質”を“更新し続ける”ことでしかありえない。

「社会を変える」ということは、
「自分を変える」ということの別の謂いでしかありえない。

引き受けるということ
超えるということ
そして強烈な当事者意識

安寧は人を孤立化させる
孤独は連帯を制限する、連帯は孤独を墮落させる

『他者の苦痛へのまなざし』
スーザン・ソントグ 著 みすず書房
情報館所蔵：3F 閲覧室 070.17 || So 48

『良心の領界』
スーザン・ソントグ 著 NTT 出版
情報館所蔵：3F 閲覧室 934 || So 48

情報館数珠つなぎ

本日のゲスト



前田 祐子さん

(図書カウンタースタッフ)

スタッフインタビュー「情報館数珠つなぎ」のお時間がやってまいりました。情報館で働いている様々なスタッフの話から、どんな人やどんな仕事か私たちの情報館を支えているのかを知っていただけたら嬉しいです。それではインタビュースタート！（インタビュー：福山賜）

どんな仕事をしているんですか？

普段は主に 2F のカウンターで学生さんや利用者さんの貸出返却をしたり、質問に答えたりしています。

前田さんが 1F の CD の面出し（ジャケットが見えるように置くこと）をコソコソ行っているという噂を聞いたんですが…

(爆笑) そうなんです。ゲリラ活動を。と、言いながら他のスタッフのみんなにもバシバシと出しています。

どう基準で面出ししてるんですか？

一応、私のこう……センスというか (笑) インパクトがあるものを選んだり、あとは、マイナーな、あまり貸出されていないものを出したりしています。

あ、そうかー。普段貸出作業してるからどんなものがよく利用されてるか、そうでないかがわかるんですね。

そうなんです。借りられるものはけっこう決まってるみたいで。だから、貸出されているのを見たことがないようなものを…。

いやー、さっき行ったらめっちゃ怪しい CD が面出しされててすごく気になってたんですよ。後で聴いてみようと思って…。

ははは。そうなんです。それを狙ってるんです。ジャケットのインパクトで興味を持ってもらうという。

じゃあ、面出しする CD の中身は確認してないんですか？

はい。確認してないです。もう、ジャケットだけ。見た目です (笑)。新たな扉を開いてほしいんです。たまに借りていてくれる子もいて…。

へえ！

もう、わー！てなってます。じつは。

それはやりがいがありますねえ (笑) 楽しそう。

はい。「やーい、ひっかかった」って心の中で思ってますね (笑)。

では、これからの情報館をもっとこうしていきたい！とか、ありますか？

もっとみんなに来てもらいたいですね。来たことがない人もけっこういるようなので。

立地もいいですね。

食堂の前ですね。

食堂といえば、前田さんは食堂をよく利用されますか？

あー、はい。たまに。

ということは、普段お弁当ですか？

そうです。

えらーい！

けっこう好きなんです。お弁当作るの。「今日めっちゃ栄養バランスいいやん」「色合いめっちゃええやん」みたいな…。

あー…。いいですねえ…。得意おかずはなんですか？

豚の生姜焼きとか。

そんなんもう、すぐにお嫁にいけるじゃないですかあ。

いやー。おっほっほっほっほ。 (笑)

お弁当には他に何が入ってるんですか？

卵焼きとか。

ちなみに味付けは？

最近好きなのが、かにかまとネギをいれた出し巻ですね。

凝ってますねー！さっきの私の質問は「塩ですか？砂糖ですか？」くらいのレベルだったんですけど。

塩のときも砂糖のときもあります。

両刀使い！？

そうです (笑)。ほかのおかずによって今日は甘いのにしようとか。

すごいですねえ。普段からお料理されるんですか？

はい。クウネルや、オレンジページなんかの雑誌を情報館で借りて、気になるレシピがあったら全部メモって… (笑)

かなり情報館を活用されてるんですね (笑) 今日はどうもありがとうございます！

情'S SELECTION

情報館スタッフが毎回あるテーマに沿って情報館資料をセレクトするコーナーです。

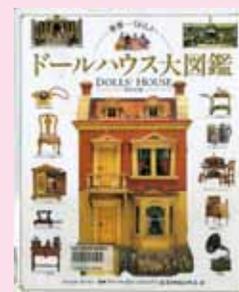
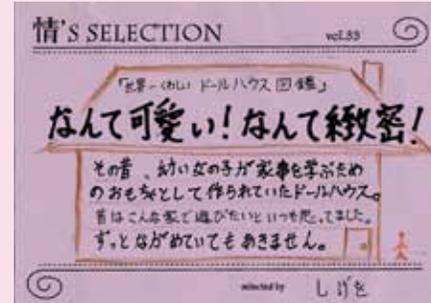
ここに住んだらどんな心地だろう…妄想しながらページをめくると時間が経つのを忘れてしまいます。

vol.33 のテーマ『家』



サツキとメイの家のつくり方

スタジオジブリ出版部編集 ぴあ 3F 閲覧室 527||Su 83 ¥1.143 (+税)

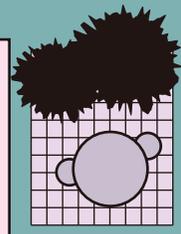
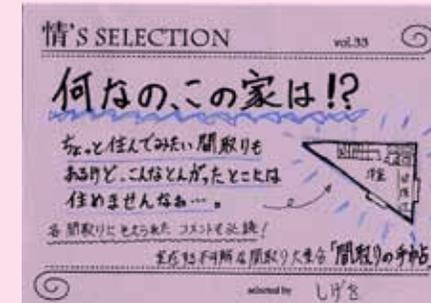


ドールハウス大図鑑

フェイス・イートン著 日本ヴォーグ社 3F 閲覧室 759||E 11

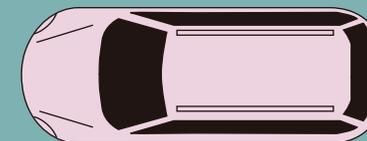
間取りの手帖 remix

佐藤和歌子著 筑摩書房 3F 文庫新書コーナー 527.8||Sa 85||ち / 文



リカちゃんハウスの博覧会: マイホーム・ドリームの変遷

INAX ギャラリー企画委員会企画 INAX 3F 閲覧室 365.3||R 41



ツリーハウスで夢をみる

アラン・ロラン他著 二見書房 3F 閲覧室 527||Ts 83

